

## しんとねがわひ 「新利根川碑」

松伏町指定有形文化財（歴史資料）  
昭和55年4月2日指定

げんぶん  
元文元年（1736）造立の河川改修記念碑です。地元では「河童石」と呼ばれ、水神としてまつられています。碑には「砥根河重疏碑」と刻まれており、この「河重」の部分を読み間違えたため、河童石の通称ができたと言われます。

この碑が建つ大字金杉地区は、旧庄内古川と江戸川に挟まれた低地で、度々  
かなすぎ  
しろうないふるかわ  
えどがわ  
の水害に苦しめられました。金杉村の名主であった飯島家は、3代にわたって河川改修を幕府に請願し、きょうほう  
享保13年（1728）にその念願が叶って改修が行われました。金杉村や近隣の村々は大規模な水害から解放されることとなり、これを記念して建てられたのがこの碑です。亀をモチーフとした「亀跌」と言われる台座は美術的にも貴重です。

※江戸川堤防改修工事により、原位置の西側へ移設されました。

